

# 2025年度三重大学「学生海外チャレンジ応援事業」報告書

| 計画タイトル※申請書と同じタイトルを記載すること | 採択コース |
|--------------------------|-------|
| 自然言語処理のためのAI技術の学修        | Aコース  |

| 学生情報     |       |
|----------|-------|
| 氏名       | 平井 海斗 |
| 所属学部・研究科 | 工学部   |
| 学年(出発時)  | 4年    |

| 渡航先情報     |                        |
|-----------|------------------------|
| 渡航先       | トルコ、アクサライ              |
| 渡航先滞在期間   | 2025/10/19から2025/11/13 |
| 訪問先機関等    | アクサライ大学                |
| 訪問先機関での身分 | Erasmus student        |

| 渡航概要と内容  |
|--|
| <p>私は自然言語を対象としたAIの基礎技術について学んでおり、その学びを深めるためにアクサライ大学へ渡航しました。渡航中は、エムレ・アルスラーン先生およびエネス・エケン先生のもとで、AIの理論的基礎や基本的な実装方法を体系的に学ぶことを目的としていました。また、トルコという異文化環境で生活することで、国際的な視点や多様な価値観を身につけ、今後の研究や自己成長につなげることを目指しました。</p> <p>アクサライ大学では、エムレ・アルスラーン先生およびエネス・エケン先生の講義や勉強会に参加し、AIの基礎的な仕組みやモデルの考え方を学びました。さらに、トランスフォーマーを用いた自然言語処理の応用演習にも取り組み、モデルの構造や応用範囲への理解を深めました。</p> |

| 渡航により達成できたこと   |
|--|
| <p>今回の留学では、AIの基礎から応用まで体系的に学ぶことができました。とくに、トランスフォーマーを用いた自然言語処理の応用や、プログラミングを用いた実装演習を通じて、理論だけでなく実践的なスキルも身につけることができました。また、研究室の先生と議論する中で、課題へのアプローチ方法や思考のプロセスの違いを知り、自分の研究に生かせる新たな視点を得ました。</p> <p>交流面では、先生や留学生、現地学生など多様な人々と積極的に交流し、異文化の中で円滑にコミュニケーションを取る経験を積むことができました。イスラム教文化やトルコの食文化に直接接触したことで、自分の中にあった固定観念に気づき、それを乗り越えることができました。これらの経験は、自身の価値観を広げる大きな成果となりました。</p> |

### 渡航を通じて感じたこと・学んだこと

留学を通じて感じた最も大きな学びは、「自分の常識は世界の常識ではない」ということでした。日常生活から研究室での議論に至るまで、日本とトルコでは価値観や宗教観、生活習慣が大きく異なり、その違いを理解し尊重して関わる姿勢の重要性を実感しました。

また、多様な文化や考え方の人々と関わる中で、自分が無意識に前提としていた固定観念に気づく場面が多くあり、考えを柔軟に切り替える力や、多角的に物事を見る姿勢が身につきました。

さらに、英語や現地の言語でコミュニケーションを取る中で、語学力だけでなく、「伝える姿勢」や「理解しようとする態度」の大切さを強く感じました。相手の背景を尊重しながら対話することで、会話が円滑になり、より深い関係を築くことができました。

### 今回の経験を今後の学修及びキャリアパスの中でどのように活かしていくか

今回の留学でAIの基礎から応用まで理解を深めたことで、今後はこれらの知識を生かし、AIを用いた研究を進めていきたいと考えています。また、トルコでの生活や文化から多くの刺激を受け、価値観の違いに触れたことで、多角的な視点を持つことの重要性を実感しました。この経験を今後の学習や研究に生かし、固定観念にとらわれない柔軟な発想で課題に取り組みたいと考えています。

将来的なキャリアにおいても、AI技術と異文化環境で得た柔軟性を強みに、社会課題の解決に貢献できる技術者として成長していきたいです。

### この事業での渡航を考えている学生へのアドバイス

渡航を通じて最も大切だと感じたのは、「積極的に一步を踏み出す姿勢」です。研究室の活動や現地の学生との交流には、自分から関わろうとする行動力が必要ですが、その一步が大きな成長につながります。

また、文化や価値観の違いに戸惑うこともありますが、まずは相手を理解しようとする姿勢を持つことで、学びの幅が大きく広がります。

現地で得られる経験は、日本にいただけでは得られない刺激にあふれています。不安を感じることもあっても、自分の世界を広げる貴重な機会だと思って挑戦してほしいです。この経験は、将来の進路や研究において必ず大きな財産になります。

### 計画全体にかかった費用(自己負担分も含めて、日本円で記載すること。)

|                       |          |
|-----------------------|----------|
| 渡航費(往復)               | 175,000円 |
| 海外旅行保険                | 10,000円  |
| 学費(教科書代や大学等プログラム授業料等) |          |
| 宿泊費                   | 30,000円  |
| 光熱費                   |          |
| 食費                    | 40,000円  |
| その他                   | 150,000円 |
| 合計                    | 405,000円 |